



舟渡小だより

令和8年3月2日

令和7年度

3月号

板橋区立舟渡小学校

校長 相澤 紀夫

志村五中・舟渡小 響き合う学びのエリア

春の訪れ

校長 相澤 紀夫

先日、東京では春一番が観測されました。いよいよ春の足音が聞こえてくる時節となりました。校庭の梅の花も勢いよく咲き始めています。2月は梅見月とも呼ばれ、梅の別称は「春告草」です。そして3月弥生は木草生い茂る月、花つ月（桜を見る月）と言われ、また春惜月（はるおしみづき）として、春を名残り惜しむ月となります。校庭の桜も、その時を静かに待っているようです。

過日、6年生との別れを惜しむような育花雨が降る日、6年生を送る会が行われました。「私たちのあこがれです」「かっこよかったです」「たくさんお世話になりました」「読み聞かせしてくれて、本が好きになりました」「大好きです」といった6年生への言葉がありました。その言葉を心に留めるかのように、まっすぐ見つめる6年生の瞳が印象的でした。校旗、法被の引継ぎの後、6年生からは手作りのふきんと見事な合唱・合奏がプレゼントされました。心温まる会となりました。その後「お別れ給食会」として各クラスに6年生が入り、一緒に楽しいひと時を過ごしました。春は別れの季節でもあります。



私が舟渡小学校に着任して、あっという間の1年間でした。ご家庭・地域の励ましの言葉もあり、子どもたちが自分の個性を発揮できた一年間でした。これもこの一年間、温かく見守るとともに、本校の教育活動にご協力・ご支援くださいました保護者・地域・関係諸機関の皆様のおかげと深く感謝しております。ありがとうございました。また新参の私を快く迎え入れ、これからの舟渡小学校が目ざす教育活動に力を尽くしてくれた教職員にも感謝しています。今後も子どもたちがどのような時代でも自分を大切にして、他者と共に道を切り開いていく力を身に付けていけるよう教職員一同取り組んでまいります。